

喜茂別町

1335 片岸 泉紀

1. 概要

1.1 町名の由来

羊蹄山、尻別岳などの山々に囲まれ、尻別川など大小 14 もの川が流れていることにより、アイヌ語で「山の多い川」という意味を表す「キム・オ・ペツ」(山奥・の・川)から、転化した。

1.2 カントリーサイン・町章

喜茂別町のカントリーサインのセールスポイントは、アスパラと中山峠である。喜茂別町は、日本で始めてアスパラを耕作した町である。中山峠は札幌市と喜茂別町の境目にあるが、道の駅は喜茂別町のものとなっている。道の駅の、「望羊中山」という名前は、羊蹄山を眺めることが出来るからだ(詳しくは後述を参照)。カントリーサインの後ろの山は羊蹄山だと言われている。喜茂別町の町章は、中央の円の中の文字は喜茂別の「喜」。円は町民の団結と平和、躍進を表し、星は北極星で、北国を象徴している。喜茂別町には花や鳥などのシンボルが定められており、花は「エゾヤマザクラ」、鳥は「インパチェンス」となっている。

1.3 歴史

喜茂別町の草創期における最初の重要な足跡は、1871(明治4)年に入植した仙台藩の支藩の藩士・阿部嘉左衛門による駅逓所開設だった。1882(明治15)年5月から虻田村に属し、1897(明治30)年7月には虻田村から分村した真狩村に属することになった。1901(明治34)年には、岩手県岩手郡本宮村出身の鈴木与助一族が中喜茂別(現伏見)の吉田孫太郎宅に草鞋を脱ぎ、入植を果たした。さらに翌1902(明治35)年4月には、同じく南部団体10戸余りが当時の上尻別へ集団移住を果たし、ようやく開拓の鍬が入れた。その後、1911(明治44)年には山梨団体253戸がソーケシュオマベツ・キモベツに入植。彼らの故郷の山梨県甲府盆地は釜無川と富士川の合流地点であり、高い山々に囲まれている山地部は気温が低くて降水量も多く、しばしば襲われる大水害に人々は苦しめられてきたため、北海道の新天地で再起を図ろうという機運が生まれたのだろう。その後、1917(大正6)年4月に真狩村から単独分村。同時に二級町村制を施行して「喜茂別

図1 カントリーサイン



出典：北の道ナビ HP

図2 喜茂別町町章



出典：北海道後志総合振興局 HP

村」が誕生し、さらに 1920（大正 9）年 6 月には、徳舜警村（現伊達市大滝地区）の一部を編入し、行政区を拡大した。1952（昭和 27）年 7 月には町制が施行され、「喜茂別町」と改称し、現在に至っている。

2. 地理・気候・位置

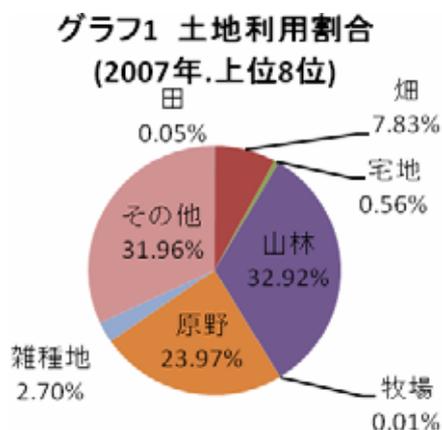
2.1 地理・位置

喜茂別町は、北海道後志総合振興局管内にある町で、虻田郡に属す。標高 264m、北緯 42 度 47 分 33 秒、東経 140 度 56 分 16 秒に位置している。地理的な観点からいうと喜茂別町には尻別川が流れており、この川は北海道千歳市の伊達市との境界付近にあるフレ岳に源を発し西に流れ、羊蹄山麓の北側を回りこむように流れ磯谷郡蘭越町港町で日本海へと注いでいる。喜茂別町、留寿都村、真狩村にまたがる尻別岳は、羊蹄山に似た山容を持ち、地質は安山岩質の溶岩ドームである。

図 4 喜茂別町地図



出典：Wikipedia HP

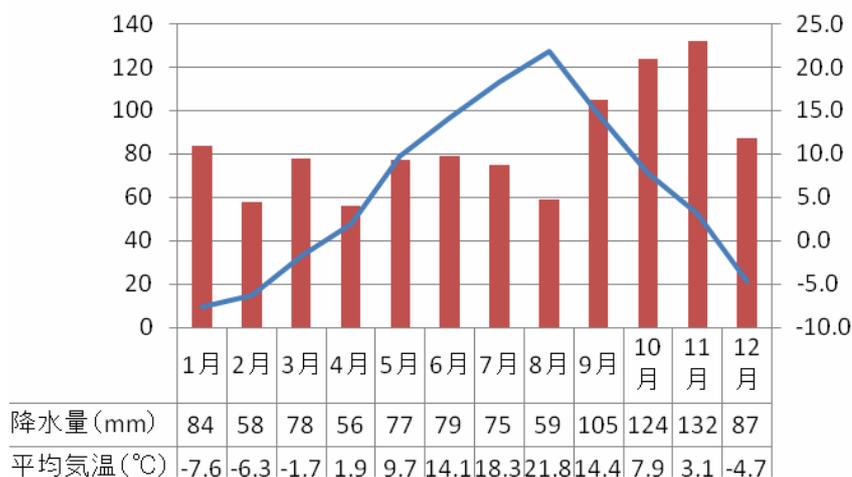


出典：喜茂別町 HP より筆者作成

面積は 189.51km²である。そのうち山林が 32%となっているが、日本の森林率約 66%と比べると、喜茂別町はこれの 3 分の 1 の割合しかなく、緑が少ないということがわかる。

2.2 気温・降水量

グラフ2 月別平均気温・降水量(2006年)

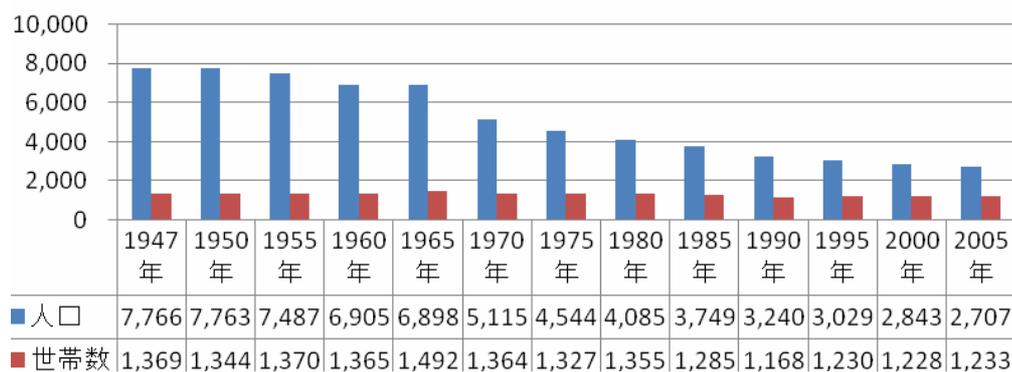


出典：喜茂別町 HP より筆者作成

内陸にあるため寒冷な気候で、年間平均気温は 5.6 にしかならない。1月の平均気温は -7.6 で、-14 以下にまで下がることも多い。7月の平均気温は 18.3 である。年間の最低気温と最高気温の差は、29.4 にもなる。年平均降水量は 1149.5mm となっており、11月の降水量が最も多い。年間の最低降水量と最高降水量との差は、76mm である。

3. 人口と世帯数

グラフ3 人口と世帯数

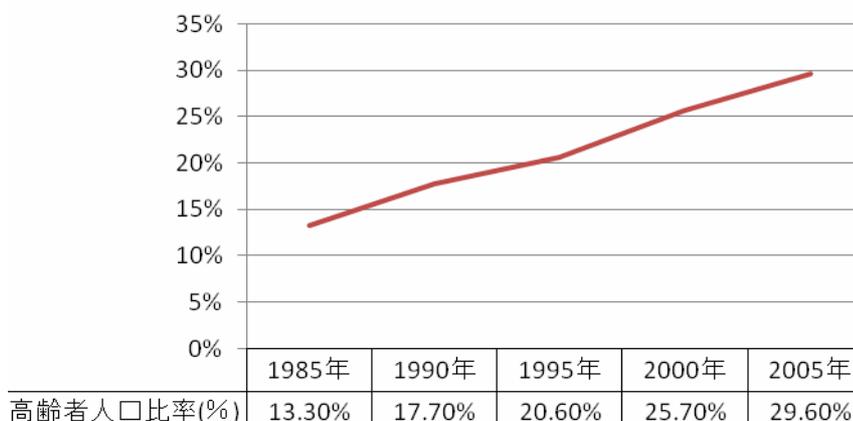


出典：国勢調査 HP より筆者作成

喜茂別町の人口は 1965 年を機に、年々急激な減少傾向にあり、2010 年時点で、戦後 1947 年の半分以下の人口となっている。このことから、町の過疎化の進行が伺える。過疎化の原因は、若年層の都市への流出や、若年層の減少により、子供を産む人が減ったため

だと考えられる。

グラフ4 高齢者人口比率推移



出典：喜茂別町 HP より筆者作成

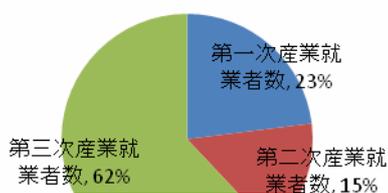
高齢者人口は、1985年 497人、1990年 575人、1995年 635人、2000年 730人、2005年 801人と、年々増加傾向にある。また、高齢者人口比率も年々増加傾向にあるため、喜茂別町は高齢化が進んでいることが伺える。この原因は上記したように、若年層の都市への流出だと考えられる。

以上のグラフから高齢の核家族化あるいは、単身世帯が増加傾向にあると考えられる。

4. 産業

4.1 産業別人口

グラフ5 産業別就業者割合(2006年)



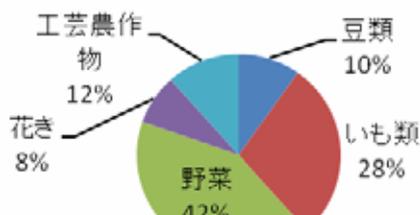
出典：喜茂別町 HP より筆者作成

喜茂別町では、第一次産業就業者数が 334人、第二次産業就業者数が 222人、第三次産業就業者数が 916人である。第三次産業就業者数の割合が約 62%と、最も高くなっている。第三次産業は小売業が中心であり、その中でも特に飲食料品関係が中心である。次に第一

次産業、第二次産業という順で割合が高くなっている。第一次産業は農業、林業が中心である。

4.2 農業生産額

グラフ6 農業生産額割合(2006年、%)



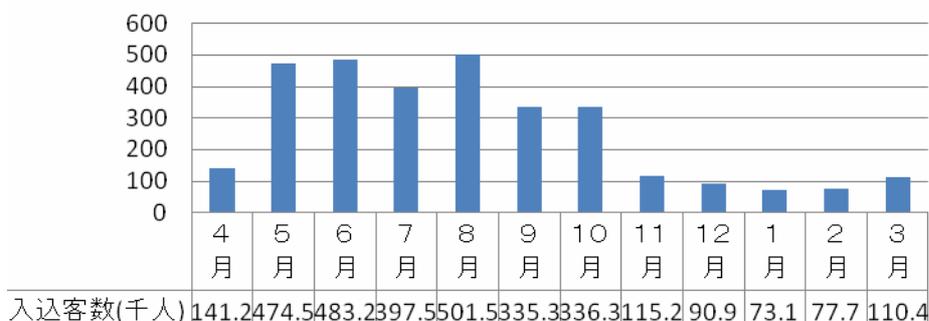
出典：農林水産省 HP より筆者作成

生産額は、豆類 1 億 1 千万、いも類 3 億 2 千万、野菜 4 億 7 千万、花き 9 千万、工芸農作物 9 千万円となっている。農業生産額割合をみると、野菜が 42%と最も高く割合を占めている。野菜栽培の中心はアスパラガスであり、アスパラガスのふるさと小包みの発送量が全道一の町である。また、アスパラ以外にトマトの生産にも力を入れている。次にいも類が農業生産額割合の 28%を占めている。喜茂別町のいもで最も有名なのが男爵いもであり、良質の男爵いもの生産地は、北海道の中でも数カ所しかない。この男爵いもに特性のパウダーをからめては揚げた「あげいも」は 1968 年の発売以来圧倒的な人気を誇り、道の駅「望羊中山」(詳しくは後述を参照)で販売されている。

5. 観光

5.1 観光入込客数

グラフ7 観光入込客数(2005年度)



出典：喜茂別町 HP より筆者作成

5月、6月と8月の観光入り込み客数が目立って多い。これは、喜茂別町のイベントである花の市やきもべつ夏まつり(詳しくは後述を参照)が、この時期に行われるからだと考えられる。グラフを見てわかるとおり、8月の観光入込客数が最大値を示しているので、夏型の観光だと言える。

5.2 観光名所

5.2.1 望羊中山

望羊中山とは、年間約400万人の旅行者が訪れるという、中山峠の頂上にある道の駅である。この駅は羊蹄山が見える絶好のポイントにあり、天気の良い日には、山頂の残雪と青空とのコントラストがまぶしいほど美しく見える。また、全国的に有名な名物「あげいも」や、「観光トイレ」の素晴らしい設備なども訪れる人々の話題を呼んでおり、長いドライブの疲れを癒す場所として人気の高い駅である。

図5 望羊中山



出典：喜茂別町 HP

5.2.2 中山峠写真の森美術館

喜茂別町の有名な観光スポットとして、北海道の大自然や野生動物、人々の暮らしなどを写真で魅せる美術館としてリニューアルオープンした「中山峠写真の森美術館」がある。写真の展示ギャラリーのほかにシーニックバイウェイプラザ、喜茂別iセンターも設置され、ホットな観光情報・地域情報を提供している。ティーラウンジやショップもあり、自然の中でやすらぎと憩いの時間を過ごすことができる。隣接する物産館「望羊中山」とも連絡通路で結ばれ、往来が一層便利になった。

5.3 イベント

5.3.1 花の市

花の種類も豊富で売り切れることもある、町民公園直売所の駐車場で5月下旬に行われる「花の市」という祭りがある。町内の花き生産者が花の苗などを市価の半額で販売している。町内外から花を求める人々で早朝から賑わっている。

5.3.2 きもべつ夏まつり

8月には、子供からお年寄りまで楽しめる「きもべつ夏まつり」が行われる。町民からお盆で帰省した方々で賑わい、

図6 きもべつ夏まつり



出典：喜茂別町 HP

花火大会も行われる。

5.3.3 全道ふれあいパークゴルフ大会

9月には、全道から選手が参加する「全道ふれあいパークゴルフ大会」が行われる。大会が行われるパークゴルフ場は、町民公園内にあり、整備された木々をぬけるコースは参加者に好評である。

5.3.4 中山峠高原スキー場開き

11月上旬は、全道でもいち早くオープンすることで有名な「中山峠高原スキー場開き」の時期である。シーズンを待ちきれないスキーヤーやスノーボーダーが多数訪れるほど、雪質が抜群となっている。

* 参照 HP *

- ・ 北海道庁 HP : <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/>
- ・ 農林水産省 HP : <http://www.maff.go.jp/>
- ・ 気象庁 HP : <http://www.jma.go.jp/jma/index.html>
- ・ ニセコサンライズ HP : <http://nisekosunrise.web.fc2.com/CCP012.html>
- ・ 喜茂別町 HP : <http://www.town.kimobetsu.hokkaido.jp/>
- ・ ウィキペディア HP : <http://ja.wikipedia.org/wiki/>
- ・ 北の道ナビ HP : <http://northern-road.jp/discover/index-cs.htm>
- ・ 北海道後志総合振興局 HP : <http://www.shiribeshi.pref.hokkaido.lg.jp/>